

かがやく

ハーモニーひたちなか

第9号

2010.9 発行

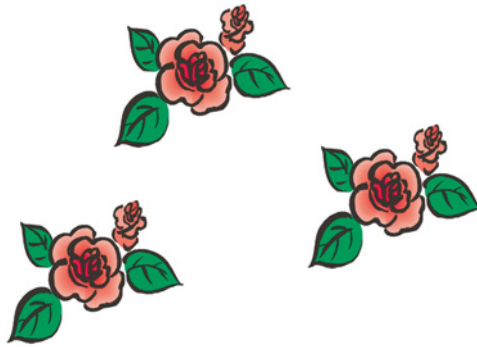
編集 / 発行

ハーモニーひたちなか

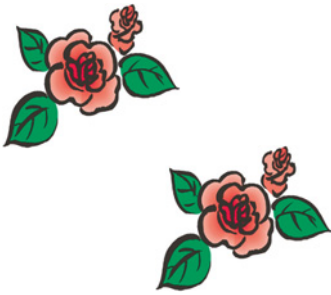
ひたちなか市女性生活課



▲眉の描き方を分かりやすく説明



▲真剣な眼差しで見つめる受講生の皆さん



自分らしくイキイキと輝くマツ!
男女共同参画講座
「メイクアップが楽しくマツ」

5月28日、男女共同参画センターを会場にフェイスクリエイターの菊池晶子さんを講師に迎え、男女共同参画講座「メイクアップが楽しくマツ」が開催され、30歳代から70歳代まで幅広い年代の女性26名の参加がありました。

参加者のなかで「自信がなくいつも前髪を下げている」という方は、講師に眉を描いてもらい見違えるようになり「これで自信をもって前髪を下げないですむ」とのこと。

菊池さんは「綺麗ではない女性は一人もいない。若々しくいるためには食事も大切だが、美容に少しの時間をかけ、いきいきと生活することが大切」と話していました。今回の講座は、自分らしく輝くためにメイクの力を少しだけ借りて「今日もがんばろう!」と感じてもらえるような講座でした。

男女共同参画センターでは、男女が共に認め合い、助け合いながら、多様な生き方や働き方を選択できるように男女共同参画の啓発活動を行っています。そのひとつとして、男女が一緒に参加できる様々な講座を年間通して実施しています。講座のスケジュールについては、同センターにお問合せください。

また、センターでは図書貸し出しなどもしていますので、気軽にお立ち寄りください。

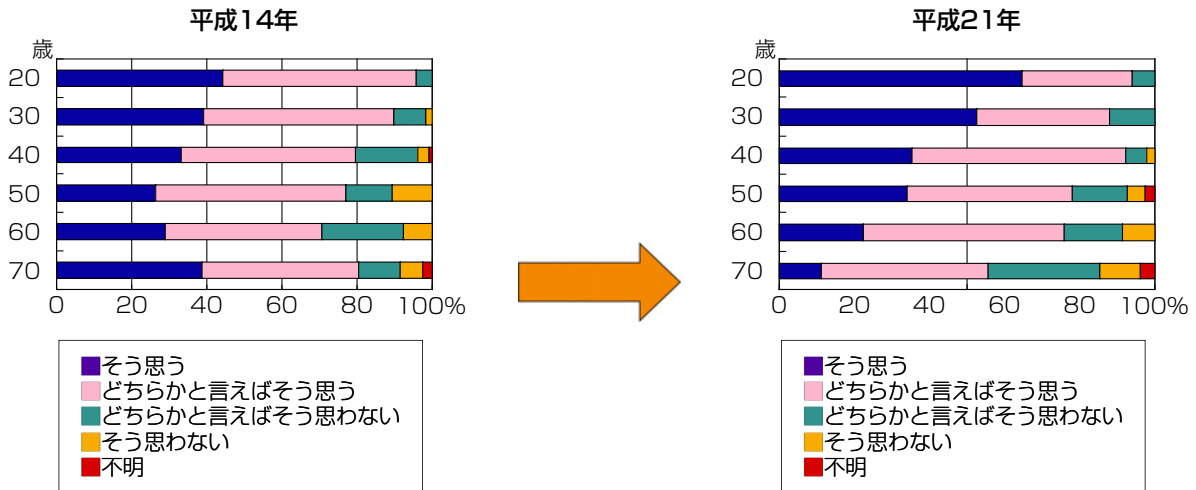
みんなどう思ってるの？

ひたちなか市の男女共同参画

市民意識調査から

★男性だって家事、育児、介護に関わりたいと思っています。

「男性も積極的に家事や育児を分担すべき」という考え方に賛成する20歳代の男性が（平成14年）44.3%から（平成21年）64.7%と増えています。

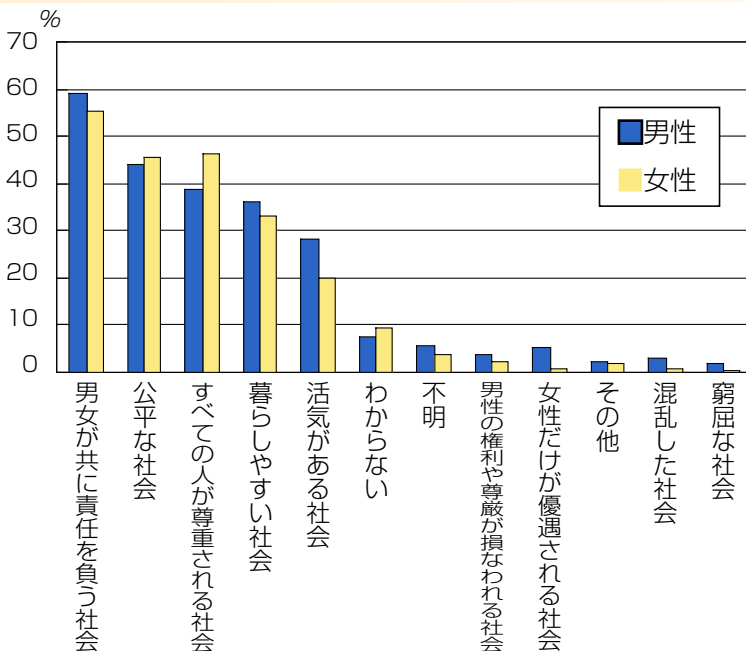


★でも、実際は性別によって役割が分担がされてしまっています。

「あなたの家庭では、仕事と家事・育児・介護の分担はどのようになっていますか」という質問をしたところ、女性が主に家事を担っている割合は78.8%、男性と女性が平等に家事を担っていると回答した割合は9.1%でした。



★ひたちなか市民の考える男女共同参画社会のイメージとは。



ひたちなか市民の考える男女共同参画のイメージは、男女が共に喜びと責任を分かち合うことができる社会のようです。



男女共同参画を推進しています

(有)ウェルフェア



今回お邪魔したのは、阿字ヶ浦を拠点に薬局と介護事業を展開する(有)ウェルフェアさんです。

平成19年度にひたちなか市男女共同参画推進事業所として表彰された同社の社長兼管理責任者の桜井さんと、ヘルパー歴9年の石田さんにお話を伺いました。



桜井さん（左）と石田さん（右）

Q ウェルフェアさんが行っている、居宅介護について教えてください。

桜井 居宅介護とは、介護を必要とする高齢者のお宅にヘルパーを派遣して支援することです。その他、外出、病院の送迎などの介護タクシー、介護用品のレンタルなどを取り扱っています。また介護が必要な人のためのプランを作成するケアマネージャーの派遣なども行っています。

Q ヘルパーは何人いらっしゃるんですか。

桜井 現在は15人で、22歳から62歳までの方が働いています。

Q 女性のための働きやすい職場作りに取り組んでいると伺いましたが。

桜井 9割が女性で共働きが多いですから、まず、家庭と仕事が両立出来るようにと考えています。

Q 具体的にはどういう支援を。

桜井 子育て中の従業員には、休暇が必要な場合、半日単位での有休があります。また家族に介護の必要がある場合は、3カ月の介護休業制度を設けています。これは、育児・介護規定として就業規則の中に明記してあります。

Q そのほかこの事業所の働きやすいところは。

石田 男女の垣根がないのがいいです。実はこの会社の管理職は全員女性で会社の運営に参加できるのです。これは上昇志向を刺激しますよ。またヘルパーのスキルアップの勉強会に、積極的に参加を促すことですね。経費補助もあるので、それを利用して2級ヘルパーから介護支援専門員、介護福祉士の資格を取っていく方も出ています。

Q ところで石田さんは、サービス責任者と紹介されましたがどんなポジションなのですか。

石田 サービス責任者の本来の仕事はケアマネージャーとヘルパーの意思疎通を円滑にすることですが、その他ヘルパーの様々な相談窓口になります。

Q どんな相談が多いですか。

石田 利用者との意識のずれで、ヘルパーの出来ないことを要求された時、感情がもつれてストレスを抱えることがあります。

Q そんなときどうなさるのですか。

石田 とにかく聴くこと。悩みを全部吐き出させること。相談に来たヘルパーに「穴のあいた心のままで帰さない…」ですね社長!!

桜井 そう、人と人が向き合う仕事ですから感情の行き違いは起きます。その時、決して一方的な判断は下さない。ヘルパーの悩みは会社ぐるみで引き受けます。

Q 最後にウェルフェアってどういう意味ですか？

桜井 英語で、優しい思いやりの介護という意味です。わたしは、薬局を経営しながら地域に役立つ仕事をと考えて介護事業を起しました。このネーミングがそのまま会社のポリシーです。

ありがとうございました。

介護は、心を通い合わせて成り立つ仕事。就業規則もさることながら、心のケアを支える窓口のあることは、働く人にとってどんなにか心強いだろうな、そんな思いのインタビューだった。

「穴のあいた心のままで帰さない。」

…いいなあ、この言葉。

ひたちなか市では、仕事と家庭生活の両立を支援する取組みや男女の多様な働き方を可能にする環境づくりを促進し、積極的に男女共同参画を推進している事業所を表彰しています。

詳しくは市のホームページをご覧ください。

<http://city.hitachinaka.ibaarki.jp>

ハーモニーひたちなかの活動を紹介します

ハーモニーひたちなか総会開催

平成22年度総会が、5月12日(水)男女共同参画センターで、13団体から24名の出席を得て開催されました。

わだちの会の鯉沼久美子さんが、議長に選出され、21年度事業報告、会計報告、監査報告が承認されました。続いて22年度事業計画案として、リーダー研修、夏の交流祭、ハーモニーひたちなかフォーラム、ハーモニーフェスタ2010等と、それに伴う予算案が議決承認されました。

総会終了後、市民活動課から市政ふれあい講座「ひたちなか市自立と協働のまちづくり基本条例について」の講話がありました。

今後ハーモニーひたちなかも、この条例の第9条に位置づけられている、男女共同参画のまちづくりを目指す活動ができればと思います。

新メンバー紹介

さわやかウォーキング会(会長 栗原保敏)

今年からハーモニーひたちなかの新メンバーになりました。私たちの活動状況を紹介します。

○会の目的

ウォーキングを通じて心身のリフレッシュと親睦を図ることです。具体的に目指すものは高齢者の生きがい・仲間・健康づくりです。

○ウォーキングの頻度と場所

原則として月に1回、県内外の観光スポットを巡りながら5～10キロ歩きます。

○会員数と年齢構成(H22.4.4現在)

111名在籍しています。60代前半～80代と広範な年齢構成になっています。

○情報の連絡

毎月「会報」を発行し、詳しいウォーキング計画をお知らせしています。

○会員以外の参加は可能?

誰でもお好みの企画へ参加できます。
※お問合せは男女共同参画センターまで



▲会報より活動の数々

「男女共同参画?」と首を傾げる子どもは多いが、授業参観や学校行事に夫婦で参加する姿は増え、一昔前にならなくなったと感じる。(デイブニーランドの男子トイレにもベビーベッドがあるのをご存知?)
そんな両親の姿を見て育つ子は、自然と男女で支え合う社会を築いてはくれまいか、と期待する。親は子の指標。そして、私達親が次世代の子ども達に願う未来は決まっている。「どうか生き易い世であれ」と。

編集後記

夏の交流祭り開催

7月31日(土)男女共同参画センターを会場に、「夏の交流祭り」が開催されました。

今回のお祭りは「ハーモニーひたちなか」会員の交流を図るために企画され、「ハーモニーひたちなか」所属団体の活動紹介や子供向けの催し、ビンゴ大会が行われました。会場に流れる音楽に誘われて多くの子供連れの家族が訪れ、参加したみんなが「熱い!」一日を過ごしました。



▲交流を深める会員達



▲ビンゴで当たったよ!!



・お知らせ・

ハーモニーフェスタ2010を開催します
テーマ「みとめあい たすけあい
みんな仲よく 生きてゆこう」

- ・期日 10月30、31日
- ・場所 ワークプラザ勝田
- ・ハーモニーフォーラム 30日(土)13:30～15:30
講演会 演題 「パパのトリセツ」
講師 おおたとしゆきさん
- ・ハーモニーフェスタ 31日(日)10:00～15:00
各団体発表・展示、ミニライブ等

お問合せは男女共同参画センターまで

TEL&FAX : 029-354-0167

E-mail : danjo282@juno.ocn.ne.jp